

あふみヴォーカルアンサンブル 創立10周年記念演奏会 『時空を超えて』

あふみ活動開始10周年の節目の演奏会として
時代・地域を超越して息づく珠玉の歌の数々をお届けします

プログラム

ラッスス宗教曲選集

Orlandus Lassus(1532-1594)

主よ、われ御身をたたえまつらん

Exaltabo te Domine

主よ、われとともに

Domine fac mecum

聖木曜日のためのエレミアの哀歌 より

Feria V ad matutinum in nocturno I: Lectio I

モンテヴェルディ マドリガル集

Claudio Monteverdi(1548-1611)

愛の神が狩りに行くなら

S'andasse Amor a caccia

私は若い娘

Jo mi son giovinetta

ああ悲しい別れ

Ah! dolente partita

この輝く目の一瞥で

A'un giro sol de bell'occhi lucenti

フランス シャンソン選

セルトン: どうしていつも

Pierre Certon(1510-1572)

Que n'est elle aupres de moy

ジャヌカン: 鳥の歌

Clément Janequin(1485-1558)

Le chant des Oyseaux

信長貴富編曲

Takatomi Nobunaga(1971-)

無伴奏混声/女声/男声合唱による日本名歌曲集

「ノスタルジア」より

花 椰子の実 故郷

美しき天然 みかんの花咲く丘

ラター アンセム集 (パイプオルガン・城 奈緒美)

John Rutter(1945-)

クレアの祝福

A Clare Benediction

われ、霊で賛美をうたわん

I will sing with the spirit

7拍子のトッカータ (オルガン・ソロ)

Toccata in 7

ある木に咲いた花 (ア・カペラ)

There is a flower

起きよ、光を放て

Arise, shine

主の祝福とご加護のあらんことを

The Lord bless you and keep you

あふみヴォーカルアンサンブル Afumi Vocal Ensemble

1998年滋賀県長浜市にて結成。「あふみ」とは、「琵琶湖」を意味する「淡海(あはうみ)」が転じたもの。結成当初より一貫して指揮者を置かず、各団員の音楽的感性のぶつけ合いと融合をモットーに音楽作りをしている。タリス・スコラーズ指揮者のピーター・フィリップ氏のレッスンを受け、ルネサンス時代の世俗曲・宗教曲を中心に取り組みを続ける。一方で、近現代曲や日本の童謡・唱歌なども取り上げている。近年は、古楽器(リュート、リコーダ)やオルガンとの共演の機会も多く、活動の幅を広げている。

クリスマスコンサートを主に公演を主催するほか、地域の行事や学校公演等での合唱の楽しさを伝える活動も展開している。

第19回宝塚国際室内合唱コンクール 金賞受賞

入賞団体演奏会出演

第2回琵琶湖周航の歌合唱コンクール 金賞

しが・ヴォーカル・アンサンブル・コンテスト 金賞3回受賞

滋賀県合唱祭 合唱祭賞5回受賞

第5回神戸・ヴォーカル・アンサンブル・コンテスト 銀賞

ソプラノ: 北島都也 中城宗子 西澤加代

アルト: 岩田ひとみ 長谷部茂子 福本奈美 藤令子

テノール: 久保田一臣 山下毅彦

バス: 長谷部健 福本憲司 山田良夫

◇あふみヴォーカルアンサンブルウェブサイト(チケット取扱いあり)

http://www.geocities.com/afumi_vocal/

城 奈緒美 (パイプオルガン) Naomi Jo

神戸女学院大学音楽学部パイプオルガン専攻卒業。

滋賀大学大学院経済学研究科修士課程修了。

幼少よりピアノ、フルートを学んだ後、パイプオルガンを井上圭子に師事。スイス、スペイン、イギリスなど国内外の国際オルガンアカデミーにて研鑽を積む。

滋賀県安土町の音楽ホール「文芸セミナリヨ」の専属オルガニストとして、国内のコンサートホールや教会などで積極的に演奏活動を行う。オルガンという楽器を身近に感じていただきたいと、お話を交えたコンサートは特に好評を博す。6月22日(日)には、スロヴァキア交響楽団とラインペルガー「オルガン協奏曲 第2番」(会場: 安土町文芸セミナリヨ)を共演予定。

コンサートの企画・運営に関わる他、後進の育成にもつとめている。日本オルガニスト協会、日本文化経済学会、各会員。

安土・文芸セミナリヨ Bungei Seminariyo Hall

1994年に開館の音楽ホール。380席の客席を有し、残響時間1.7〜2.1秒の音響空間は器楽・室内楽をはじめ小編成アンサンブルに最適と評される。ホールの名称「セミナリヨ」は、16世紀に織田信長の許しを得てイエズス会の宣教師たちが安土の地にキリスト教の神学校「セミナリヨ」を開設したことに由来して名付けられたもの。神学校「セミナリヨ」では、西洋音楽の教育も実施され、日本に最初に輸入されたオルガンが演奏されていた。この史実に基づき、「文芸セミナリヨ」にはパイプオルガンが設置され、コンサート・講習会・見学会などに幅広く利用されている。「文芸セミナリヨ」のある「文芸の郷」内の「安土城天主信長の館」には、スペイン・セビリア万国博覧会に出展された、幻の安土城天主5・6階部分の原寸復元が展示されており、訪れる人も多い。

(財)安土町文芸の郷振興事業団・文芸セミナリヨ

滋賀県蒲生郡安土町桑実寺777番地

TEL 0748-46-6507 (チケット、送迎バス予約)

◇文芸セミナリヨのウェブサイト(チケット取扱いあり)

<http://www.hottv.ne.jp/~bungei/seminariyo/>

◇メールアドレス: bungei@hottv.ne.jp

